

火災での人命救助に感謝状

昨年12月31日、赤水で発生した家屋火災に、阿蘇高原ホテルに通勤途中の家入信行さん（菊陽町）が気づき、迅速的確な避難誘導をされたことが人命救助につながったとして、2月18日、阿蘇市長と阿蘇広域行政事務組合消防本部消防長から感謝状が贈られました。

ろうそくの火が天幕に延焼したこの火災で、家入さんは、発見後すぐに消防署に通報。家に入り、中にいた80代の夫婦を一人ずつ救助し避難させました。2階にいた奥様は足が不自由だったということで、早期の避難誘導は人命につながる行動でした。



▲右から2番目が家入さん



▲講演を行う平岡監督

この日、同スポーツクラブ設立準備委員会の小坂今朝和会長（赤水）らによる挨拶や、設立に関する規約や予算についての審議が行われたあと、県立大津高校サッカー部の平岡和徳監督による記念講演が行われ、会場は多くの聴衆で埋め尽くされました。

同スポーツクラブに関するお問い合わせは、TEL 22-3229（教育委員会事務局社会体育係）までお願いします。

「いつでも・どこでも・だれでも」楽しめる 阿蘇市総合型地域スポーツクラブ設立！



阿蘇市総合型地域スポーツクラブの設立総会が2月24日、国立阿蘇青少年交流の家で開催され、関係者など約200人が参加しました。

同スポーツクラブは、市民のスポーツ環境の充実を図り、「いつでも・どこでも・だれでも」生涯にわたって、スポーツを楽しむことができるよう設立された多種目型のスポーツクラブで、ゴルフや乗馬など9種目によって設立されました。指導者はすべて市民の方たちで、入会後は、ひとつの種目だけでなく、興味のある種目に複数参加することができる点が魅力。今後は、市民のニーズに応じて種目も増設する予定です。

阿蘇の達人を目指し検定に挑戦！



第1回阿蘇まるごと検定（同検定実行委員会主催）が2月3日、九州東海大学阿蘇校舎（南阿蘇村）で行われ、県内外の361人が“阿蘇の達人”を目指して受験しました。

これは、阿蘇地域の魅力を情報発信し、地域のおもてなし力の向上を図るために行われたもので、阿蘇の自然、歴史、文化、観光に関する50問（1問2点）が出題され、22日に行われた合格発表では70点以上を獲得した333人が見事“阿蘇の達人”の称号を得ました。

なお、第2回検定は、来年度中に実施される予定です。



▲謝辞を述べる工藤さん

栄養教室で健康づくりをマスター！

生涯けんこう栄養教室終了式が2月21日、一の宮保健センターで行われ、今年度は24の方が1年間の課程を終え、市長から修了書が手渡されました。

この教室は、運動・栄養・休養の健康づくりを基本に10回の講座で学習するもので、毎回好評を得ています。

式では、来賓の阿蘇市食生活改善推進員協議会の森会長が「学んだ知識を家庭や地域に広げ役立ててほしい」と会の推進とともに挨拶。修了者を代表して工藤登さん（深葉）が謝辞を述べられました。

なお、平成20年度の募集申し込みは次号でお知らせします。